

5月21日 志位委員長が小倉・博多で訴え

# 2800人が聞いた!



## 7人が入党

募金6万円

ウクライナ募金は9万円

## 参院選勝利へ大きなステップ

1ヶ月後に迫った参議院選挙での勝利にむけて、日本共産党の志位和夫委員長は21日、小倉・博多駅前で演説し、「今度の選挙は戦争か平和か、日本の進路が問われる」として、「党をつくって100年、反戦平和と民主主義を貫いてきた日本共産党を大躍進させてください」と呼びかけました。

この日、駅頭で2500人（小倉1400人、博多1100人）、オンラインで300人が聞いたのははじめ、7人が入党を決意し、募金が6万円（ウクライナ募金が別途9万円）集まりました。

志位委員長は、憲法9条を活かした外交など平和をつくる4つの呼びかけ、消費税減税など「やさしく強い経済」をつくる5つの改革を紹介し、比例5議席と福岡選挙区での勝利を訴えました。

にひそうへい比例予定候補、まじま省三選挙区予定候補が「国会へ送ってほしい」と力説。北九州憲法ネットの諸隈美波弁護士、市民連合ふくおかの片山純子事務局長が熱い応援の演説を行いました。

参加者からは「元気が出る集まりだった。知り合いに広げたい」「日本の命運がかかった選挙だと実感した」など感想が次々と寄せられています。